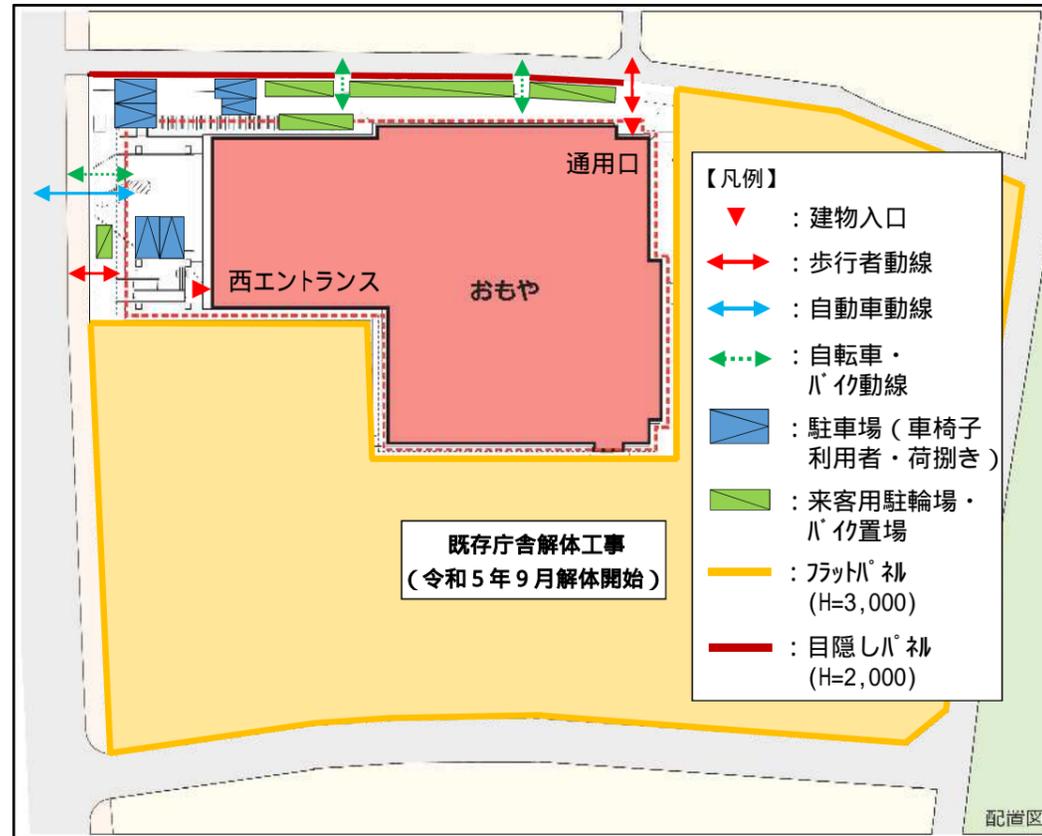


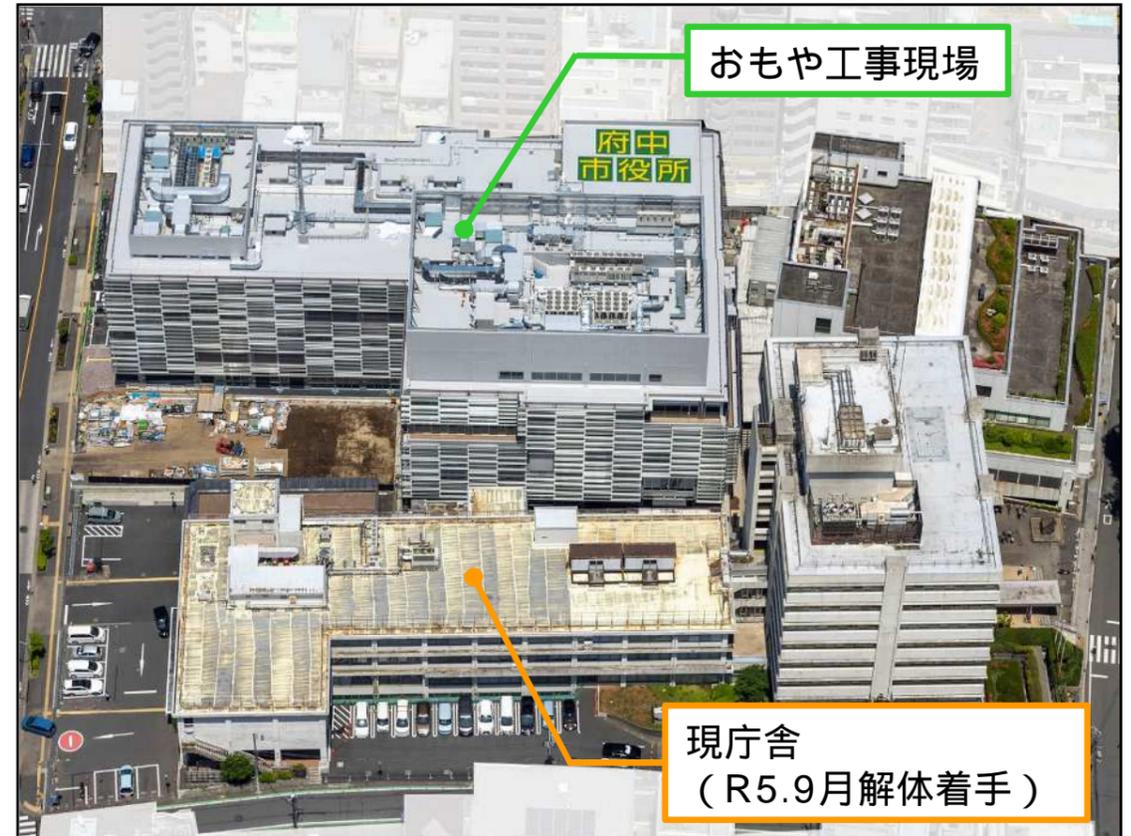
【建物概要】

敷地面積	11,633.89㎡
用途	事務所、図書館、店舗、駐車場
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造(免震構造)
階数	地上6階 地下1階
最高高さ	30.14m
延べ面積	32,362.67㎡
建築面積	6,349.29㎡

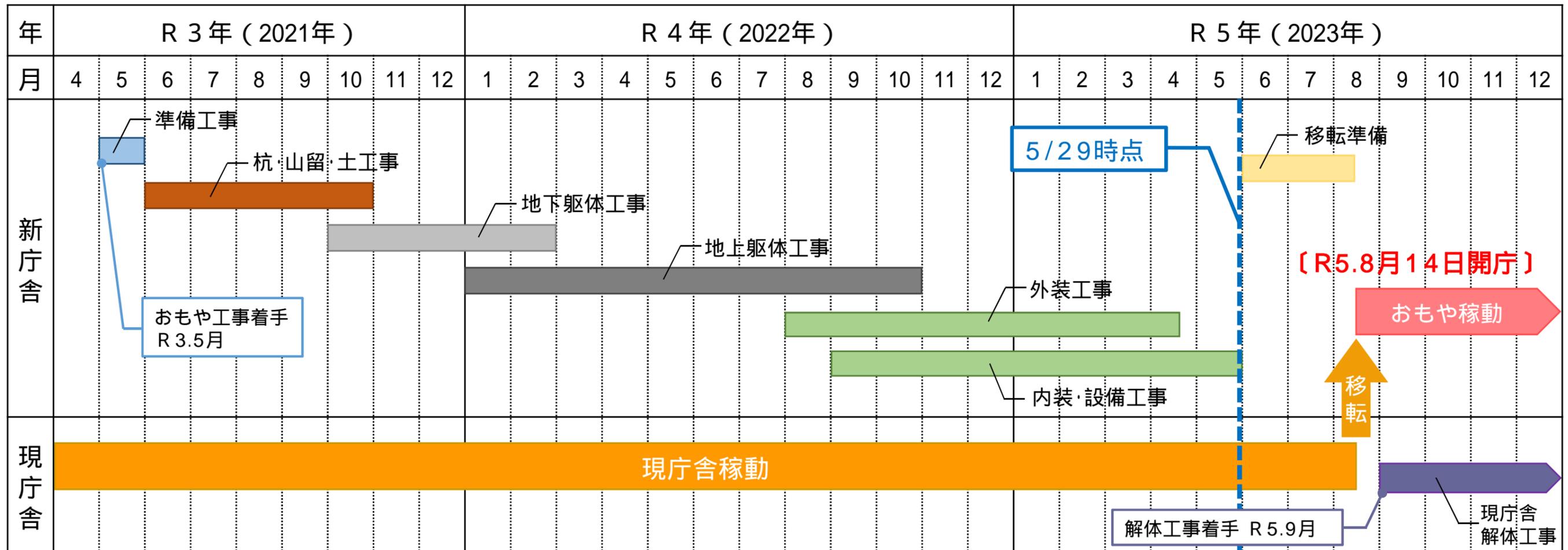
【配置計画 (おもや稼働中 R5.8月14日以降)】



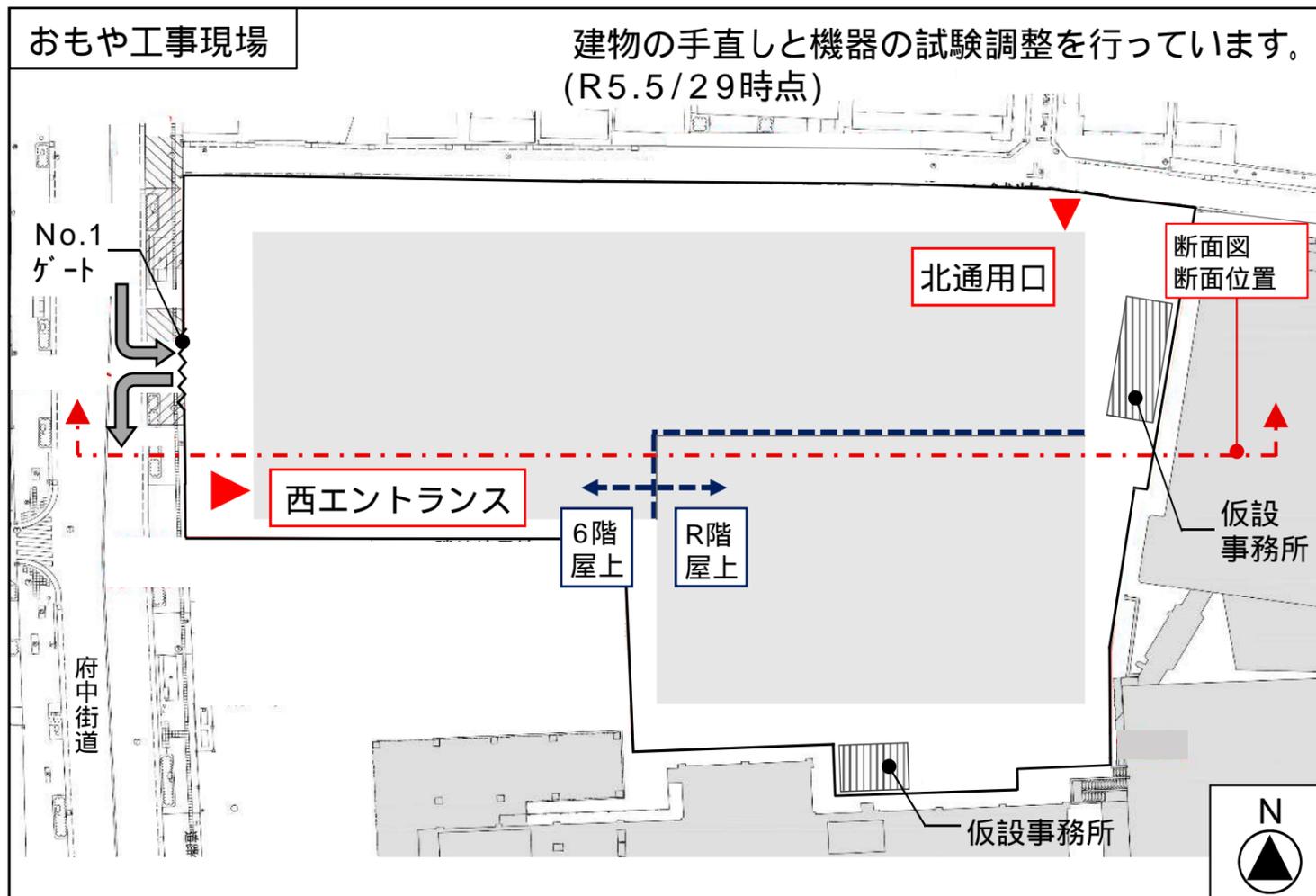
【航空写真 (R5.5月17日時点)】



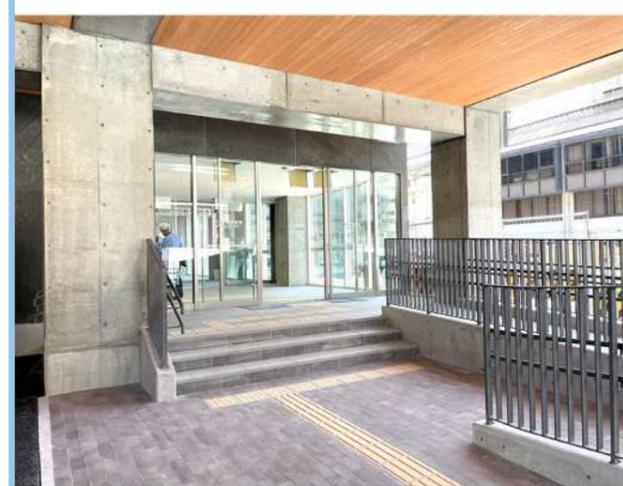
【工程表】



【平面図】



「おもや」西エントランス



- ・「おもや」のメインとなる入口は、府中街道側に位置しています。入口付近には、車椅子利用者用駐車場やスロープを設置しており、バリアフリー動線を確認しています。また、入口を入った左側には、庁舎管理室を配置しており、常時人が建物の管理や警備をしています。
- ・なお、府中駅側からお越しになる方は、北通用口をご利用ください。

各課窓口・待合（「おもや」1階）



- ・各課の窓口上部には、パラペットサイン（吊り看板）を設置し、窓口の位置の視認性を高めています。また、天井を高くし、執務室内の間仕切り壁を設置しないことで、見通しの良い空間としています。
- ・1階の床材には、耐久性が高く、防滑性のあるセラミックタイルを使用しており、内部のコンクリート打ち放しと調和するような風合いのものを採用しています。

外装計画



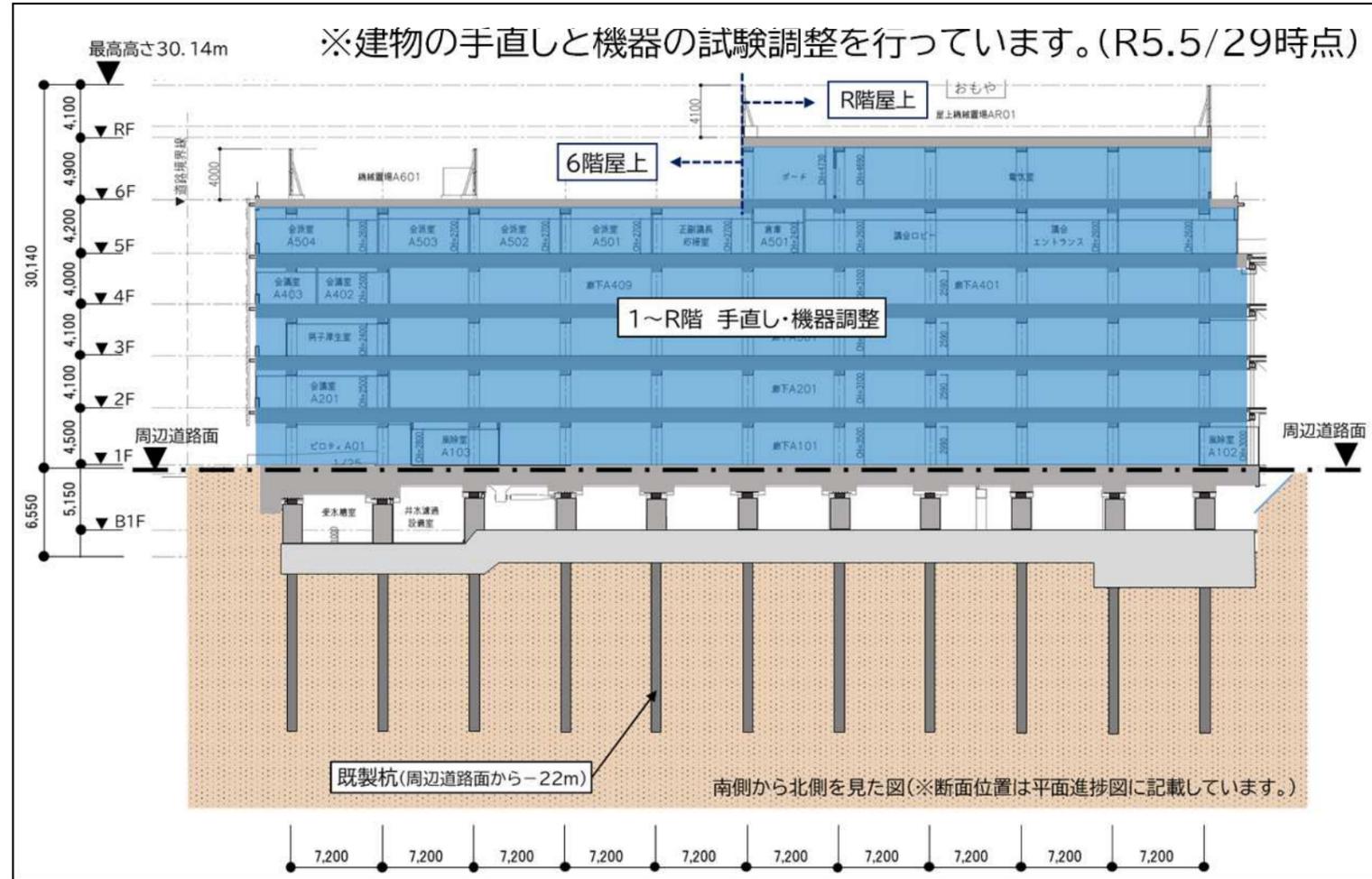
- ・建物の外周部には、有孔パネルを設置しており、日射熱の抑制により環境負荷の低減を図っています。また、有孔パネルはメンテナンスフリーな建材であるZAMと呼ばれるメッキ鋼板を使用しており、時間の経過とともに保護被膜を自ら形成し、腐食の進行を抑制するといった非常に優れた耐食性を有しています。
- ・建物の軒天（見上げ）部分には、多摩産材の杉板を使用し、かつての宿場町の風情が感じられる仕上げとしています。また、外壁仕上げのリン酸パネルは、耐食性が高く、経年変化により色の濃淡が抑えられ、周辺景観と調和していくといった特徴があります。

内装計画（「おもや」廊下部）



- ・「おもや」の内装は、災害に強い堅固な庁舎をイメージし、コンクリート打ち放しやグレーの濃淡を基調とした計画としています。また、壁面のスチールパネルは、歴史ある府中市をイメージし、古色（古風な趣のある色）の「黒緑」を採用しています。
- ・なお、「はなれ」の内装は、アースカラーを基調とした温かみのある色合いの使用を予定しています。

【断面図】



エレベーター・エスカレーター



- エレベーターは、「おもや」の東側(大國魂神社側)に2基、西側(府中街道側)に1基設置しており、全てバリアフリー対応としています。また、エレベーターホールには、建物のフロアマップや天吊り案内板のほかに、デジタルサイネージを設置し、議会の日程や市からのお知らせなどを掲示する予定です。
- エスカレーターは、「おもや」の東側(大國魂神社側)に上りと下り1基ずつを設置しており、利用者の多い1階と2階の移動を円滑にします。また、誰でも安全に利用できるように、ゆっくりとした速度での運転とし、音声での誘導も行います。

市議会フロア(「おもや」5階)



- 議場は、武蔵野の地に古くから根付く3種類(ナラ、ハリギリ、サクラ)の天然木を壁面に重ね合わせて張り合わせ、木に包まれた温かみのある空間としています。
- 壁面・天井面の取り合いには、半透明のパネルを設置し、間接照明が柔らかに差し込む計画としています。
- 議会エントランスは、壁面ごとに3種類の天然木を使い分けて張り合わせ、様々な色合いの木の縦見切りを随所に設置するなど、武蔵野の雑木林を表すような木の温もりに溢れた空間です。
- 床のカーペットは、木の内装と調和する落ち着いた色合いとし、壁際に設置された間接照明が特徴的な空間を彩ります。
- 傍聴ロビーは、議場の隣に設けられたスペースで、議場放送用のディスプレイやスピーカー、ソファを設置しており、議会を身近に感じる市民に開かれた場所とします。
- 議場内に入らずに、会議の内容を傍聴することができるので、子連れの方などでも気兼ねなくご利用いただけます。

**「おもや」工事のお知らせは以上です。
解体工事は、9月から開始しますので、引き続き
工事の進捗に合わせて状況をお知らせします。**